

新潟大学災害・復興科学研究所 教員公募要項

1. 所属 災害・復興科学研究所
2. 職名・人員 准教授または助教 1 名（任期：令和 3 年 12 月 31 日まで、再任なし）
*育児休業等に伴う代替教員として、任期を設定しています。
3. 採用予定日 令和 3 年 4 月 1 日以降のなるべく早い時期
4. 給与 国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程による。
5. 職務内容 (1) 自然災害科学・防災学に関連する自然科学的手法に基づく研究を研究所の現員教員と共同して推進し、管理運営業務も分担すること。
6. 応募資格 (1) 博士の学位を有すること
(令和 3 年 3 月 31 日までに取得見込みも含む)。
(2) 自然災害科学・防災学およびこれに関係する研究分野において研究実績を有すること。
(3) 上記職務内容に関して研究所の教員と協力して研究や管理運営業務を行う能力があること。
7. 応募書類 (1) 履歴書（様式は特に定めない。大学入学以降の学歴，職歴，学位，資格，賞罰などを記入のうえ，写真を添付し自筆署名すること。）
(2) 研究業績
(ア) 著書，学位論文，学術論文・総説（査読付き論文のみ），プロシーディングス論文（査読付き論文のみ），報告書・紀要等（査読無しの論文を含む），国際会議発表論文，国内会議・学会発表論文，招待講演を区分したリスト。様式は特に定めないが，基本として，著者名，論文名，雑誌名，巻（号），最初と最後のページ，発表年（西暦）を記載する。Science Citation Index に登録されている雑誌には「*」印をつける。
(イ) 査読付き学術論文のうち，代表的なもの 5 編以内の別刷あるいはコピー。
(3) これまでの外部資金（科学研究費補助金，それ以外の競争的資金，受託研究費など）の獲得状況について，種目・種類，研究題目，研究代表者名，金額（分担の場合は分担額）および研究期間をまとめたリスト，ならびに特許・実用新案（出願中も含む）等を記したリスト。様式は特に定めない。
(4) 学会賞等の受賞歴がある場合には，賞の名称，受賞件名，受賞者名および受賞年月をまとめたリスト。様式は特に定めない。
(5) 学部，大学院（博士前期・後期課程）等における教育実績がある場合には，担当した授業科目名，ならびに指導した学生数と指導研究題目のリスト。様式は特に定めない。
(6) 産学連携，社会連携，学会活動に関わる実績がある場合には，その内容を示したリスト。様式は特に定めない。

- (7) これまでの研究概要（A4用紙2ページ以内），ならびに採用された場合の研究等に関する抱負（A4用紙2ページ以内）について記述したもの。様式は特に定めない。
- (8) 応募者について照会可能な方2名の連絡先（氏名，所属，電話，Eメールアドレス）を明記すること。
- (9) 准教授 または，助教の希望職名を明記すること。

(注) 応募書類は選考以外の目的には使用しません。また，上記の応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守し，本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報，「独立行政法人等の所有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて適正に管理いたします。

8. 応募の締切り 令和3年1月29日（金）17時必着

9. 選考方法 応募書類による選考を行います。最終選考で面接を行いますが，旅費等は支給できません。

10. 応募書類の送付先 および問合せ先 (1) 応募書類の送付先
〒950-2181
新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学災害・復興科学研究所
准教授・助教候補者選考担当係 宛

注1：封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書し，簡易書留郵便で
ご送付ください。

注2：印刷した応募書類と応募書類のPDFデータを電子媒体に記録の上，同封してください。

(2) 問合せ先
〒950-2181
新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学災害・復興科学研究所 教授 ト部厚志
電話：025-262-7057，E-mail：urabe@gs.niigata-u.ac.jp

11. その他 (1) 新型コロナウイルス感染症の流行により，面接方法および着任時期は，候補者と協議の上，変更することがあります。

(2) 国籍は問わないが，日常的に日本語を使えることが望ましい。

(3) 新潟大学では，男女共同参画室を設置して，男女共同参画を推進しており，業績（研究，教育，社会貢献ほか）が同等であれば，女性研究者を優先的に採用します（<https://www.niigata-u.ac.jp/geo/nugeo/pa-sengen.html>）。

(4) 災害・復興科学研究所は，「変容かつ激化する自然災害に対して適応能力が高い強靱（レジリエント）な社会を構築する“Disaster

Resilient Society の創生”」を目指した研究を推進しています。また、新潟大学が掲げる「日本海側ラインおよび環東アジアにおける災害・復興科学の研究拠点化」を目指し、国内外の研究機関と連携した取り組みや共同研究を精力的に推進しています。

新潟大学の概要，災害・復興科学研究所および大学院自然科学研究科の活動内容については，下記のホームページをご参照ください。

新潟大学 <https://www.niigata-u.ac.jp>

災害・復興科学研究所 <https://www.nhdr.niigata-u.ac.jp>

大学院自然科学研究科 <https://www.gs.niigata-u.ac.jp>

【教員募集（新潟大学）】

<https://www.niigata-u.ac.jp/university/recruit/faculty-members/>